【4-7 評価シート エビデンス総体】

診療ガイドライン	HBOC
対象	RRSOを受けた患者
介入	SEE-FIM使用
対照	通常の病理検査

エビデンスの強さはRCTは"強(A)"からスタート、観察研究は弱(C)からスタート
* 各ドメインは"高(-2)"、"中/疑い(-1)"、"低(0)"の3段階
** エビデンスの強さは"強(A)"、"中(B)"、"弱(C)"、"非常に弱(D)"の4段階
*** 重要性はアウトカムの重要性(1～9)

エビデンス総体

								リスク人数(アウトカム率)											
アウトカム	**研究デザイン/研究数**	**バイアスリスク***	**非一貫性***	**不精確***	**非直接性***	**その他(出版バイアスなど)***	**上昇要因(観察研究)***	**対照群分母**	**対照群分子**	**(%)**	**介入群分母**	**介入群分子**	**(%)**	**効果指標(種類)**	**効果指標統合値**	**信頼区間**	**エビデンスの強さ****	**重要性*****	**コメント**
STICの検出率	観察研究/9	0	0	0	-1	0	0	36	0	0	1289	27	2.1	NA	NA	NA	中(B)		SEE-FIM or notで比較した研究はほぼなし。
OS																	非常に弱(D)		OSを論じられる報告なし(SEE-FIMのところでOSを議論すること自体が困難)
オカルト癌の検出率	観察研究/8	0	0	0	-1	0	0	88	5	5.7	1344	28	2.1	NA	NA	NA	中(B)		オカルト癌は増えるが、比較検討した論文が少ない。
検索結果が術後治療に与える影響	観察研究/1	0	0	0	-1	0	0	NA	NA	NA	359	6	1.7	NA	NA		非常に弱(D)		術後治療についての論文はほとんどなかった
費用対効果	記載なし																非常に弱(D)		費用対効果についての論文はなかった

コメント(該当するセルに記入)